

空き家通信

空き家バンクで有効活用しましょう

市では、空き家バンク事業で空き家を有効活用した移住・定住を進めています。売却または賃借を希望する市内の空き家所有者から、物件情報を登録し、市ホームページなどで情報提供しています。空き家の有効活用に、ぜひ空き家バンクをご利用ください。



市ホームページ
USA de KURASO

宇佐市空き家バンク

窓口やホームページから物件の情報提供や連絡調整を行います。

物件情報

常時
約 **80** 件

成約件数

年間
約 **50** 件

希望情報

物件登録

利用登録

物件情報

空き家・空き地所有者

当事者間で売買・賃貸の交渉や契約

空き家利用希望者

問合せ

- 空き家バンクについてはこちら … 市ふるさと回帰支援センター (☎ 27-8172)
- 空き家のお悩み無料相談はこちら … 空き家サポートおおいた (☎ 44-0057)

多文化共生ひろば

問合せ 秘書広報課 多文化共生・交流係
(☎ 27-8240)

このコーナーでは、宇佐市の外国人住民や支援者、市の取り組みなどについてご紹介します。みんなが暮らしやすい多文化共生社会を作るためにまずは知ることから始めませんか。

センターに携わって約2年、改めて市内には多くの外国籍の方が住んでいることを実感しています。現在29の国と地域から905人の外国人が市内で生活していて、最も多いのが技能実習生です。他にも留学、定住者、永住者、日本人の配偶者等とさまざまな在留資格を持ち、それぞれ抱えている問題が異なります。その中で共通する問題が言葉の壁です。日本語が難しく情報弱者となり、大変多くの方が苦労しています。その解決策の1つが「やさしい日本語」を使うことだと学びました。例えば「記入します」を「書きます」のように、日本語が得意ではない方にもわかりやすい表現に言い換えて伝えることで、相手がとても助かることもあります。相手を思いやり、優しい気持ちで使う「やさしい日本語」がもっと広がり、多くの国際交流が生まれることを願っています。



お便りをくれた方

職場 市外国人総合相談センター（さんさん館2階）
名前 センター長 高坂 亮佳さん
こうさか あきよし

空襲と特攻 その1

宇佐市長 是永修治

令和4年1月、柳ヶ浦地区の下水道工事現場で、米国製250kg爆弾と思われる不発弾が発見されました。翌2月、半径400mの住民が避難する中、陸上自衛隊による処理が無事完了しましたが、戦後77年たった今も「我がまちも戦場だった」ことを思い知らされた出来事でした。

宇佐海軍航空隊（宇佐空）は、実戦機で搭乗員を訓練する練習航空隊として昭和14年10月に開設しましたが、戦況悪化に伴い昭和20年2月、神風特別攻撃隊が編成されます。3月には実戦部隊となるとともに特攻の中継基地にもなったため、米軍による空襲の目標とされました。

式陸上攻撃機（一式陸攻）18機のお大半が破壊され出撃不能となります。「桜花」は1.2tの爆弾を搭載し、一式陸攻につり下げられて運ばれ、上空で離されるとグライダーのように飛んで米軍艦に体当たりするもので「人間爆弾」と言われました。「桜花」は、市平和資料館に実物大模型が展示されていますので、ぜひご覧ください。なお、私事で恐縮ですが、当時14歳だった私の母がこの空襲を体験しており「低空飛行で乱射するパイロットの顔まで見えた」と語っていました。次回へ続く。



米軍が沖縄で捕獲した「桜花」

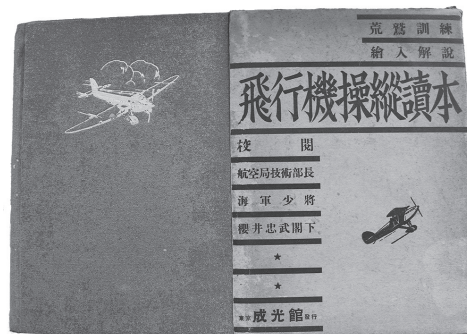
平和ミュージアム（仮称）開館に向けて
kioku wo tsunagu

記憶をつなぐ

このコーナーでは、戦後75年以上経って体験者の声が薄れゆく中、戦争の実像を伝えるためにこれまでで収集した資料や今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

57 飛行機操縦読本

「荒鷲訓練 絵入解説」と副題があり、海軍の少年航空兵である飛行予科練習生の志願者を対象として昭和15年に発行されています。飛行機の操縦方法や機体構造などのイラスト入り解説、過去の採用試験問題も掲載されています。太平洋戦争が始まると、予科練入隊者は大幅に増員されて搭乗員の中核となり、特攻戦死者も多数に及んでいます。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎ 27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎ 27-8200）